



第五小だより7月号

令和4年7月1日 第4号 <http://5sho.wako-city.ed.jp/>
〒351-0104 和光市南1-5-10 TEL 048-463-3100 児童数 656名

学校教育目標
心豊かな子ども
進んで学ぶ子ども
たくましい子ども
地域を愛する子ども

第五小の良いところ③ 皆のために行動する



校長 来嶋 実樹子

本校 H.P.

6月6日に梅雨入りし、あっという間に梅雨明けとなりました。昨年よりも7日、平年よりも22日も早く、6月中の梅雨明けは1951年の統計開始以降初めてだそうです。37度台の気温が続くと体調の方がついていきません。本校は学区が広く、正門に立って子供たちの様子を見ていますと、汗びっしょりで顔も赤くなっています。きんもくせいの木陰で水筒のお水やお茶を飲んで一息つき、教室に向かう児童もいます。登下校時のマスクについては、熱中症対策のためにはずすように子供たちに話しておりますので、ご家庭でも声かけをお願いいたします。

大変暑い中でしたが、6月末には低学年・中学年の授業参観・懇談会にたくさんの保護者の皆様に来ていただいたことを大変嬉しく思います。感染症対策のために、今回も前半・後半に分けての参観となりましたが、ご協力いただきありがとうございます。私は第五小の子供たちが、背筋と肘をピンと伸ばし、一生懸命に手を挙げる姿がとても好きです。先日南部教育事務所並びに和光市教育委員会の学校訪問で本校の25の授業を見ていただきましたが、どの学級の子供たちも課題に前向きに取り組んでいました。課題解決のために自分の考えを発表したり、友達との学び合いを深めるために考えを交流したりする子供たちの様子を褒めていただきました。また、廊下などでの元気な挨拶、人懐っこい子供らしさや明るい笑顔についても「良いところ」として認めていただきました。学級活動や道徳の時間については、自分のことだけでなく周りにいる人達の気持ちを考えながら、より良い行動について深めていました。自分の行動が誰かのために役に立っているという実感を得ることが、「自己有用感」を育むことにつながってきます。子供たちの「自己有用感」を高めていくことができる教育活動を大切にしていきたいと思えます。1学期の取組の中で、「皆のために役に立つ」という活動を紹介します。

運動委員会

ボール投げ教室

5・6年の運動委員会の児童が、1年生にボールの投げ方を教えてくれました。



1年生

トウモロコシの皮むき

和光市の農家の方が朝4時から収穫してくださったトウモロコシの皮を、1年生が全校分むいてくれました。甘くておいしかったです。

1学期も今日を入れてあと13日、学習のまとめ・生活のまとめをしっかりと行い、子供たちが元気に夏休みを迎えられるように取り組んでまいります。引き続き、保護者の皆様、地域の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。